



平成20年9月22日

各 位



東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
**石川島建材工業株式会社**

代表取締役社長 岡田 秀夫  
(コード番号 5276 東証第2部)  
(決算期 3月31日)

問合せ先 財務部部長 土佐 健次  
(TEL. 03-5221-7211)

当社の親会社 **株式会社IHI**  
代表取締役社長 釜 和 明  
(コード番号 7013 東証第1部)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年5月12日の決算発表時に公表した平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の第2四半期累計期間及び通期の業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 当第2四半期累計期間の業績予想の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

##### (1) 連結業績予想

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	当期純利益 百万円	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想(A)	3,050	△775	△785	△790	△38 16
今回修正予想(B)	3,070	△1,070	△1,060	△1,290	△62 32
増減額(B-A)	20	△295	△275	△500	—
増減率(%)	0.7%	—	—	—	—
前期実績 (平成20年3月中間期)	3,675	△493	△488	△664	△32 08

##### (2) 個別業績予想

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	当期純利益 百万円	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想(A)	3,000	△710	△720	△725	△35 02
今回修正予想(B)	3,000	△850	△860	△920	△44 45
増減額(B-A)	—	△140	△140	△195	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
前期実績 (平成20年3月中間期)	3,629	△421	△419	△596	△28 78

2. 当通期の業績予想の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

(1) 連結業績予想

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	当期純利益 百万円	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想（A）	19,700	60	40	30	1 45
今回修正予想（B）	19,100	△700	△740	△980	△47 34
増減額（B－A）	△600	△760	△780	△1,010	—
増減率（％）	△3.0%	—	—	—	—
前期実績 （平成 20 年 3 月期）	11,841	△994	△973	△1,220	△58 93

(2) 個別業績予想

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	当期純利益 百万円	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想（A）	19,600	100	90	80	3 86
今回修正予想（B）	19,000	△490	△510	△580	△28 02
増減額（B－A）	△600	△590	△600	△660	—
増減率（％）	△3.1%	—	—	—	—
前期実績 （平成 20 年 3 月期）	11,708	△792	△779	△1,017	△49 11

(3) 修正理由

【連結】

売上高につきましては、セグメント事業において、年度後半の売上計上を見込んでいた鉄道・道路用の大型土木プロジェクト案件のうち、一部に製作開始時期の翌期以降への延期、大断面道路用大型合成セグメント（SBL：Steel Beam Lining）および高流動コンクリートセグメントなどの開発製品の生産開始時における品質対応で生産遅れが長期化しております。

また、自走式駐車場事業においては、当期受注・当期売上を見込んでいた案件について、昨今の不動産市況を反映し案件の具体化が進まない事から、計画の延期および中止等が生じる見通しとなっております。その結果、通期売上高 197 億円を 191 億円に修正いたします。

営業利益、経常利益につきましては、主にセグメント事業において、決算発表時に見込んでいた鋼材価格を上回る高騰に伴う収益性の低下および受注工事損失引当金繰入損の計上、前述した開発製品の生産開始時における品質対応で生産遅れが長期化したことによる売上総利益の減益により、通期営業利益 60 百万円を△700 百万円に、通期経常利益 40 百万円を△740 百万円に修正いたします。

当期純利益につきましては、特別損失としてセグメント事業の固定資産減損損失が約 230 百万円見込まれるので 30 百万円を△980 百万円に修正いたします。

【個別】

売上高、営業利益、経常利益の主な修正理由は、製造子会社における売上総利益の減益による影響を除いて前述した連結同様であります。

当期純利益につきましては、特別損失としてセグメント事業の固定資産減損損失が約 50 百万円見込まれるので 80 百万円を△580 百万円に修正いたします。

(注) 本資料に記載しております業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により本資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。

以 上